

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	日本語表現Ⅰ		
担当者(Instructors)	伊藤 恵美子	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この授業は、受講生の能動的な協働活動に依り行います。大学での学修に必要なコミュニケーション能力（伝える力・受けとめる力）とライティング能力（客観的な文章を書く力）を身につけるため、実践的な日本語の表現活動を課題（タスク）ベースで進めていきます。タスクは受講生同士の対話、つまりピア活動を通して行います。前期科目「日本語表現Ⅰ」では、義務教育で勉強した現代日本語の文法を復習しながら文の構造を理解し、文法的に正確な文が書けることを目指します。また、毎回の授業で同音異字など基本的な漢字・語彙を確認します。後期科目「日本語表現Ⅱ」に連続する内容です。基本的には教室での対面授業、新型コロナウイルス感染症対策等で入構禁止に及んだ場合に限り、リモート授業を行います。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業は講義形式にアクティブ・ラーニング（ペアワーク・ディスカッション・プレゼンテーション）を取り入れて行います。全学共通科目ですから、学部が異なる（見知らぬ）受講生と積極的に交流して学ぼうと思う意欲の高い学生さんを、特に歓迎します。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	授業の進め方・出席・課題・評価等について理解する	<input type="checkbox"/>
第2回	授業の目的を理解する	この授業で学ぶことを理解する	<input type="checkbox"/>
第3回	漢字・語彙の確認 自分を伝える (1)	曖昧な漢字・語彙のチェック 話したいことを整理する	<input type="checkbox"/>
第4回	漢字・語彙の小テスト 自分を伝える (2)	確認テスト 話したいことを相手に伝える	<input type="checkbox"/>
第5回	漢字・語彙の確認 情報を理解する (1)	曖昧な漢字・語彙のチェック 必要な情報を整理する	<input type="checkbox"/>
第6回	漢字・語彙の小テスト 情報を理解する (2)	確認テスト マップを書く	<input type="checkbox"/>
第7回	漢字・語彙の確認 スピーチの準備をする (1)	曖昧な漢字・語彙のチェック 整理した情報を使って伝える (1)	<input type="checkbox"/>
第8回	漢字・語彙の小テスト スピーチの準備をする (2)	確認テスト 整理した情報を使って伝える (2)	<input type="checkbox"/>
第9回	漢字・語彙の確認 スピーチをする (1)	曖昧な漢字・語彙のチェック スピーチを通じて、互いをリソースとして認識する (1)	<input type="checkbox"/>
第10回	漢字・語彙の小テスト スピーチをする (2)	確認テスト スピーチを通じて、互いをリソースとして認識する (2)	<input type="checkbox"/>
第11回	漢字・語彙の確認 計画書を書く (1)	曖昧な漢字・語彙のチェック 学修計画書を書く	<input type="checkbox"/>
第12回	漢字・語彙の小テスト 計画書を書く (2)	確認テスト 学修計画書を互いに読みあう	<input type="checkbox"/>
第13回	漢字・語彙の確認 情報を探す (1)	曖昧な漢字・語彙のチェック 情報の探し方を知る (1)	<input type="checkbox"/>
第14回	漢字・語彙の小テスト 情報を探す (2)	確認テスト 情報の探し方を知る (2)	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	学んだことを振り返る	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

テキスト『日本語検定必勝単語帳 入門編』の課題を毎日行うこと（40分程度×6日）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題については、翌週の授業で紹介し、全体で共有します。小テストの結果は、翌週の授業で解説を行います。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019全学共通DP2	日本語のバリエーションを理解して、適切に運用できる。 課題達成に向けて、受講生同士が協力して取り組み、互いに貢献できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

平常評価：ワークシート
その他：発表（40）、小テスト（30=5×6回）

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	大島弥生・大場理恵子・岩田夏穂・池田玲子（2012）『ピアで学ぶ大学生・留学生の日本語コミュニケーション：プレゼンテーションとライティング』ひつじ書房	978-4-89476-471-2
2	東京書籍研修部（2008）『日本語検定必勝単語帳 入門編』東京書籍	978-4-487-80287-6
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	野田春美・岡村裕美・米田真理子・辻野あらと・藤本真理子・稲葉小由紀（2016）『グループワークで日本語表現力アップ』ひつじ書房	
2		
3		
4		
5		